

## 第248回:場末の京劇

むかしヒチコックのサスペンス映画「海外特派員 (Foreign Correspondent)」を観て、特派員なる職業に憧れた記憶があるが、長じて海外駐在員になってみると、アタマは丈夫でなくてもなんとかなるが、五臓六腑だけは頑丈じゃないと持たないなあと実感したものだ。駐在員の重要任務のなかに接遇業務があり、接遇はしばしば宴席を伴うからだ。上海に駐在していたころの筆者はいまと違ってバリバリの日中友好推進派であり、中国を訪れる日本人に中国と云う特異な国を好きになってもらおうと健気にも孜孜汲々と接遇任務に励んだものである。幸いなことに、あの頃の中国はいまと違い「坂の上の雲」のような時代の雰囲気を持つ好感の持てる国であり、そんな任務も決して苦痛ではなかった。自分も身に覚えがあるが、出張者とは現金なもので、受けた歓迎と、味わった料理によって訪問地の印象は時に変わることもある。中国に対し抱いた往時の情熱は今や消え失せてしまったが、それでも中国をとことん嫌いになれない最大の理由が中華料理にあるのは、少なくとも筆者にとっては間違いのないことだ。当時「食べログ」や「ぐるなび」等ネット検索はない時代であり、そんななか紅灯の巷に出没しては情報収集に励み、膨大なレストランの一覧表を準備しておき、お客様には「上海の伝統的家庭料理と、租界時代のコロニアルな中華料理のどちらがご希望ですか？」と尋ね、懐中には受験勉強の要領で解答①、解答②、そして別解まで用意したものだ。一覧表は中華料理と日本料理だけでなく、タイ、ベトナム、インド、アラビア料理までカバーし、料理カテゴリーも高級料理、海鮮料理、精進料理、B級グルメと「何でもござれ」の品揃えだった。但しイヌ、ヘビ、サソリの類のゲテモノ料理と「エンターテイメント付きのレストラン」だけは、どうにも好きになれずリストからは常に除外していた。

当時の勤務先には、筆者が勤務する上海だけでなく北京にも事務所があり、その所長がホスピタリティ溢れる名物男で、日本からやって来るお客様や行員を毎度毎度拉致しては、食事しながら雑技(サーカス)や京劇を鑑賞できる中華料理屋に案内するので有名だった。日本で云えば弁当を食いながら時代劇を鑑賞するハトバスツアーにちょっと似ているかも。しかし日本でも「聴きながら」、「観ながら」のナガラレストランで出される料理で美食に遭遇することはまずない。主催者が総コストを削るために料理にかかる費用を節約するからだ。

日本からのお客様は、天下のM信託銀行が接待するからには、北京飯店の北京ダックか、シャングリラホテルのフカヒレ料理かと当然考える。酒は青島ビールをチェイサーにしてアルコール52度の貴州茅台酒を飲もうと考えても罰は当たらないだろう。期待に胸を弾ませていると、北京駐在員が案内してくれたのは、場末ならぬ閑静な、不潔ならぬ鄙びたる中華料理屋とは！ いやいやホントに美味しい料理屋とは、意表を突くこんな店にこそ有りぬべしと、ぬるいビールを飲みながら料理を待つと、最初に出て来るのが猪耳(ブタの耳)とモヤシを油と香辛料で和えた前菜、その次は悄然とこうべを垂れ、恨めし気に食客を睨む鶏冠付きの鶏の丸揚げ。どうしても食が進まないの、スープでも飲もうかと深皿の白濁スープをレンゲでかき回してみると、鬼の爪のようなモミジ(鶏の爪)がプカリプカリと姿を現す、思わずギャーと叫びたくなる。慣れたら美味しい中華料理の数々なのだろうが、日本人には刺激が強すぎるかも。こんなディーブな北京料理から

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

やっと解放されると、次に待ち受けているのが、本日のメインイベントの登場である。

京劇は中国の伝統劇の総称であり、より正確に云えば、北京の京劇、上海の滬劇、浙江の越劇、四川の川劇、中国各地にはローカル色豊かな伝統劇がある。ただ四川語や上海語のような方言で語られるため、台詞が理解できない中国人客も多く、題材は人口に膾炙する三国志や水滸伝のなかでも、飛び切り有名で、中国人なら誰でも知っている「長坂坡」、「野猪林」のような場面が選ばれる。弁天小僧が浜松屋で「知らざあ言って聞かせやしょう」と啖呵を切る歌舞伎シーンのようなものだ。ただ、京劇と歌舞伎との違いは、前者の舞台が異様なほどシンプルなことだ。芥川龍之介が「上海遊記」のなかで、「支那本来の舞台の道具は椅子と机と幕だけである」と紹介しているのは、決して大げさな表現ではない。

だから京劇を鑑賞するときは、劇の「約束事」をある程度覚えておく必要があるようで、これが初心者にはよくわからない。孫悟空が机の上に乗るのは、火焰山の頂に立っていることを意味する。三国志で大活躍する豪傑張飛と、若武者馬超が対決する京劇「戦馬超」、クライマックスは二人の大立ち回りだが、彼らは武蔵と小次郎のような足軽雑兵ではなく、れっきとした将軍であり、武将同士の対決は馬を互いに走らせ、すれ違いざまに一合、二合と切り結ぶ馬上の戦いだ。舞台にはサラブレッドも登場しないし、馬のぬいぐるみも出てこないが、観客は馬上の張飛と馬超が対決していると頭に描いて鑑賞する必要がある。椎名誠さんが「異文化の異次元芸術空間に魅了される」と何かで書いておられたが、魅了されるにはそれなりの素養が必要だ。京劇のクライマックスシーンでは、鼓膜が破裂しそうな勢いで鉦太鼓が乱打され、そんな猥雑な雰囲気の中、場末では観客が南京豆を齧ろうが、麩を搔こうが、舞台そっこのけで大騒ぎしようが一向に構わず、まことに気楽である。これが西洋オペラ鑑賞に勝る唯一のメリットだろう。

2002年3月、日本共産党の不破哲三氏が、両国共産党の歴史的和解の旅で中国を訪問したとき、京劇に案内され、「三岔口」、「虹橋贈珠」に感銘を受けたと「北京の五日間」に印象を記しているが、よくよく読むと「夕食もそこそこに長安大劇場に出かけた」とある。流石は接待役の党中央対外連絡部、日本からの賓客を場末の小屋に案内するはずがない。京劇を鑑賞したければ、外人観光客やおのぼりさん専用の場末ではなく、国立オペラ座に相当するような本格的な場所に行くことをお勧めする。虻蜂取らずと云うとおり、何かを得るためには何かを犠牲にしなければならない。一級の京劇を堪能したければ、「夕食、もそこそこに」、おっとり刀で急行する必要があるのである。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成26年11月10日

## 筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

## ご投資にあたっての注意事項

### 手数料等およびリスクについて

#### ① 株式の手数料等およびリスクについて

- ・ 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- ・ 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ② 債券の手数料等およびリスクについて

- ・ 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

#### ③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- ・ 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- ・ 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- ・ 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第 121 号  
日本証券業協会 加入  
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040